

# 令和7年度第1回池田市図書館協議会会議録要録

日 時：令和7年8月31日（日）午前10時～11時30分

場 所：池田市立図書館 多目的室

出席者：（委員）小倉委員、柏委員、平野委員、金子委員、中嶋委員、向田委員、入江委員、  
布村委員、森脇委員

（事務局）前野生涯学習推進室長、塚原図書館長、林石橋図書館長、他職員2名

欠席者：久保田委員

傍聴者：なし

議 題：（1）令和6年度池田市図書館の運営に関する評価について  
（2）図書館利用者アンケート集計結果報告について

配布資料 ・ 令和7年度第1回 池田市図書館協議会出席者名簿  
・ 令和6年度池田市図書館の運営に関する評価（案）  
・ 「令和6年度池田市図書館利用者アンケート」集計結果報告

---

## <事務局挨拶>

---

会 長 令和6年度池田市図書館の運営に関する評価について、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、（1）の基本的な利用に関する評価についてご報告させていただきます。

## <事務局より説明>

会 長 図書館の自己評価では年間来館者数、年間貸出人数、有効登録者数がA評価、年間貸出冊数が減少傾向ということでB評価となっています。貸出冊数の減少については来館者の年代層の変化により1回あたりの貸出冊数も変化していると分析されているようですが、いかがでしょうか。

委 員 基本的には図書館と同じ評価で良いと思いますが、比較対象が前年度の数値のみなので、池田市の人口的に、近隣自治体図書館との比較なども可能なら教えていただきたいです。

事務局 来館者数の比較はとっておりませんが、市民一人当たりの貸出冊数としては大阪府内で上位に入っています。貸出冊数は自治体ごとに上限が異なるのですが、蔵書数が多い館はその分一度に借りられる冊数も多い傾向にあり、当館よりも多く借りられる館がたくさんあります。そのなかで、上限10冊という規模で上位に入っているということは、多くの貸出利用があると認識しております。

委 員 評価は図書館の自己評価に同意します。1日あたりの貸出冊数は減少が続いていますが、分析されているように年代によって利用冊数に違いが出ているということであれ

ば、必ずしも冊数が多い方が良いとも限らないと思います。指標そのものについて、冊数だけが指標になり得るのか検討が必要ではないでしょうか。

事務局 貸出冊数の数値には電子図書館の貸出数は含めておりませんが、含めたとしても減少傾向にはあります。今後も利用状況については現在の傾向が続いていくと予想しておりますが、比較方法については確かに検討が必要だと感じております。

会 長 年間の貸出者数が微増しているものの、貸出冊数が減少しているということは、分析の傾向に一致していると思います。その傾向のなかで年間の来館者数が増えているということは、本を借りる以外の目的で来館してくれる利用者が増加しているということであり、魅力的な催しや取組みに足を運ぶ方が増えたということですので、素晴らしいことだと思います。

委 員 貸出冊数の減少はここ１、２年の傾向でしょうか。なにか原因やきっかけなどありましたか。また貸出冊数には雑誌なども含まれていますか。

事務局 貸出冊数には雑誌や視聴覚資料も含めてと数値なりますが、電子図書館は含まれておりません。これまでは来館者数が増加すれば貸出冊数も比例して増加していましたが、コロナ以降は来館者数は増加し、貸出冊数は減少する傾向がみられています。今後も分析が必要だと認識しております。

委 員 これから毎年この傾向が続くのかどうか、見ていく必要がありますね。

会 長 １月にシステム更新をされましたが、利用者にとってのメリットは何かあったのでしょうか。

事務局 お手持ちの端末で図書館カードの表示ができるデジタル図書館カードのサービスや、利用者登録のオンライン申請を開始しました。これにより、以前は電子図書館のみを利用する場合も、利用者登録のために一度は来館いただく必要がありましたが、オンライン申請により来館することなく電子図書館の利用が可能となりました。

会 長 ありがとうございます。それでは、協議会の評価も自己評価と同じとさせていただきます。引き続き、(２)「池田市図書館運営方針」の基づく施策評価について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 まずは「①多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。」の３項目についてご説明いたします。

<事務局より説明>

会 長 自己評価としては３項目すべてＡとされています。

委 員 よく取り組んでおられて、妥当な評価だと思います。

委 員 異論ありません。資料の廃棄についてはどのようにされていますか。

事務局 資料の状態によって、傷みのひどいものや複本があるものなどを判断し除籍、廃棄しております。複本などで傷みの程度が軽いが除籍となった資料については学校や地域文庫などの団体へお譲りすることもあります。市民の方に向けては保存期間を過ぎた雑誌をリサイクル資料として提供させていただいております。

委 員 市内の高齢者施設などにも寄贈を検討してはいかがでしょうか。

事務局 今後資料管理のうえで、状態の良い一般書の除籍資料が増えてきた場合にはＰＲしていきたいと考えております。

委 員 どのような資料を除籍されていますか。人権的に誤解を生じたり差別的な表現があるも

のや間違った情報が掲載されている本の取り扱いはどのようにされていますか。

事務局 人権に関わる資料は歴史的資料も多く、表現を理由に除籍はしていませんが、利用者の閲覧に際して配慮が必要なものに関しては表紙等に表示をしております。内容について情報が古くなるもの、たとえば旅行ガイドブック等は明らかに誤情報になってしまいますので、除籍しております。

委員 たくさん資料展示をされていますが、利用者からの評判など、反応がわかりにくいと思います。展示テーマのリクエストを受付してはいかがでしょうか。

事務局 確かに展示に関する評判を統計的に確認することは難しい部分がありますが、展示書架の空き具合や貸出ペースから伺える部分はあります。テーマ選定については主に季節や時事的なテーマ、行事に関連したものを中心に行っております。

会長 収容冊数には限界があると思いますが、最大収容冊数に対し、現在の所蔵数はどれくらいなのでしょう。

事務局 資料数としては現時点で両館ともに収容冊数を超過しておりますが、貸出中の資料もあるため収容できております。今後は増加分を廃棄する必要が出てきますが、傷んだ資料や、情報が古くなったものを整理することで、適正な蔵書管理に努めていきたいと考えております。

会長 電子図書館へ移行する可能性はあるのですか。

事務局 旅行ガイドといった情報に移り変わりがあるものなど、分野に応じて選書の際に検討が必要だと感じております。

会長 評価につきましては、協議会もすべてA評価を提案いたしますがいかがでしょうか。

委員 異議なし。

事務局 引き続き、「②社会の変化と市民のニーズに対応した情報を発信し、地域住民の課題解決に役立つ図書館づくりをめざします。」の3項目についてご説明いたします。

<事務局より説明>

会長 「広域利用・相互貸借の促進」の項目で、川西市との相互利用が全体的に減少している点について、理由をどのようにお考えですか。

事務局 川西市立図書館のある施設が改修工事を行っているという点や、自治体の住民減少などの事実は把握しておりますが、原因については今後の検証が必要だと感じております。

委員 広域利用、相互利用に関して他市の担当者と定期的な打ち合わせなどがありますか。

事務局 広域利用の参加館限定ではありませんが、大阪府内の図書館間については、共有しているポータルサイトがあり、各種連絡や府内の図書館に向けてアンケートをとったりすることができます。川西市とは毎年の統計情報を担当者間でやりとりしております。これまでは利用が増加傾向にあったので特に打ち合わせ等はしていませんでしたが、今後必要性を感じております。

委員 川西市に関しては兵庫県なので難しい点もあるかもしれませんが、担当者とあらためて連絡や打ち合わせを行うなど、問題解決にむけて双方から動けたら良いですね。

委員 「課題解決支援サービスの充実」について、インターネットから申し込めるeレファレンスサービスの開始や、色々な講座の実施など、熱心に取り組んでいると感じます。前回の協議会でも話題にしましたが、インターネット社会において情報格差の広がりを感じておりますので、その解消に向けて図書館が先導していくような役割を担っていただ

けたらと期待しております。これまでの活動に加えて、今後は市民の情報リテラシーの向上をはかる取り組みにも力を入れていただきたいと思います。

事務局 情報リテラシーの向上までは実施できておりませんが、池田市とソフトバンクが地域包括連携協定を結んでいること、またサンシティ池田の2階にソフトバンクの店舗がある関係から、当館でもソフトバンクと連携した高齢者向けのスマホの使い方講座を実施しております。こちらは当初、図書館が駅前に移転した2019年から開始した取り組みでしたが、コロナ禍で一時中断していたものを再開いたしました。今年度は2ヶ月に一度の開催で内容を少しずつステップアップするような形式をとっており、次回は防災に役立つ使い方や、LINEの使い方に加え、図書館の電子図書館の紹介もあわせてお伝えする講座の実施を予定しております。これらをきっかけに少しでも市民の方に役立つ取り組みが出来ればと思いますし、今後は情報リテラシーの面も含めた講座の内容検討が必要だと感じております。

委員 個人的に生成AIを活用することが多いのですが、以前に比べて回答の精度が改善されていると実感しています。ニーズが無ければ講座を実施しても参加が少ないかもしれませんが、情報レベルの底上げは確かに必要だと感じます。

委員 相互貸借とは、どちらを相手にした取り組みでしょうか。

事務局 相互貸借は当館に所蔵の無い資料を、全国の図書館から取寄せや貸出しを行うサービスですが、基本的には大阪府内の図書館とのやりとりが多いです。

委員 相互利用は広域利用に入るのでしょうか。川西市との相互利用以外に、7市3町との相互利用をすすめていかれるのでしょうか。

事務局 相互利用に関しては川西市のみと協定を結んでおり、それとは別に、広域利用として大阪府内の7市3町で協定を結んでおります。

会長 評価については協議会としても自己評価と同じく、課題解決サービス、ホームページSNSについてはA評価、広域利用・相互貸借の促進についてはB評価を提案しますがいかがですか。

委員 異議なし。

会長 それでは、「③子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。」の5項目について説明をお願いいたします。

<事務局より説明>

委員 今年、引率として小学3年生の図書館見学へ同行しました。石橋図書館へも違う学年が見学を予定していますが、どちらも移転して施設がきれいになり、子どもたちも来やすくなって、図書館が子どもたちにとって近しい場所になったことをありがたく感じています。連携も今後緊密にしていきたいと考えております。ショート動画などが人気を集めていますが、電子から紙への揺り戻しも今後起きるのではないかと考えております。子どもたちが紙の本と接する機会を図書館が作ってくれると良いと思います。子育て世代の減少とありますが、高齢者は分母が多く、働く世代は共働きが増えて子どもと一緒に来館する時間がないのではないのでしょうか。学校側もこまめな工夫をして子どもたちが本に触れられるように取り組んでいます。図書館がそれをバックアップしてくれており、高く評価したいです。

委員 表記について気になる点があるのですが、現在「子ども」は「こども」表記が正しいの

ではないでしょうか。

事務局 通例的に平仮名表記の「こども」が増えてきておりますが、教育委員会資料や行政資料の表記に合わせて統一するようにいたします。

委 員 いま一般的には平仮名の「こども」表記になっていますので、今後ご確認をお願いします。

委 員 「ヤングアダルトサービスの実施」については、利用実態はいかがですか。

事務局 ヤングアダルトコーナーについては様々な資料を集め、配架して蔵書の充実をはかっております。年齢別の利用状況としては統計的に中学生のみの数値をとることが難しいのですが、高校生は微減といったところです。

委 員 中学校に絵本講座などで訪問したときに、小学校のときにおはなし会を体験したことを覚えてくれている子が多くびっくりしました。図書館との連携でおはなし飛行船の派遣を行っていますが、取組みが子どもたちのなかに残っていることを実感しました。図書館でのおはなし会もボランティアとして参加していますが、小学生向けプログラムの日に小学生の来館者がおらず、赤ちゃんと保護者の方に読み聞かせを行うこともあります。赤ちゃんには難しい絵本でも、保護者の方が一緒におはなし会を体験してもらえることで、ほっとする時間を過ごしていただいたり、絵本をたくさん借りていただけることもあります。さまざまな絵本を届けられるという点でも図書館はとても大事であると実感しております。

委 員 幼児や小中学生は本が好きで読む子もいますが、高校生以上になると段々スマホを持つ影響からか、本から離れていく傾向にあります。文部科学省のデータでは大学生の50%が一年間に1冊も本を読まなかったという調査結果も出ており、そういった年代へ、紙の本の魅力を伝えていけたら良いと思います。司書体験など、子どもたちが本と関われる仕組みをつくっていただきたいです。

委 員 池田高校と園芸高校は文部科学省からDXハイスクールの指定を受けており、探求学習をすすめています。図書館にその取組みを支援していただいたり、何らかの形で関わっていったら良いと思います。

会 長 司書体験は参加を希望する方も多いため、ぜひ続けていただきたいですね。評価については皆さん全てA評価ということでよろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

事務局 それでは「④図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。」につきまして、ボランティアとの協働事業の実施、各種行事の開催、図書館協議会の開催の3項目についてご説明いたします。

<事務局より説明>

委 員 「ボランティアとの協働事業の実施」の項目を自己評価ではBとしていますが、システム更新のための休館により開館日数が少なく、その影響でボランティアの年間参加人数が減少したのならば、A評価でも良いのではないですか。

事務局 4日間の休館を加味したとしてもわずかに減少しているため、自己評価としてはB評価とさせていただきます。

委 員 ボランティアの年間参加人数が減っているとはいえ、2000人以上とはすごいと思います

が、どんな活動をされているのですか。

事務局 人数は延べ人数で記載しておりますが、日々の書架整理や、おはなし会の読み聞かせ、声の図書、さわる絵本、図書の修理といった様々な活動をしていただいています。

会 長 「各種行事の開催」項目にあります「せせらぎこどもフェスタ」はどんなイベントだったのでしょうか。

事務局 「おさんぽマルシェ」というイベントと連携してサンシティ池田の各店舗が駅前広場で参加したイベントであり、図書館は絵本コーナーを設置したり、おはなし会を開催いたしました。あいにく当日天候には恵まれませんでした。今後こういったイベントがあれば連携していきたいと考えております。

委 員 秋の読書週間にちなんだ行事では前年に比べて参加人数が約2倍になっていますね。どんなことをしたのでしょうか。この結果をふまえると、ボランティアとの協働事業に関する評価はBとは言えないように思います。

事務局 各ボランティアの活動内容を紹介したポスター展示、声の図書館の朗読会、布おもちゃの体験、図書修理の体験など、体験行事を通じて普段の活動のPRをしていただきました。参加人数は一般参加者の累計参加人数となります。

委 員 とても熱心な取組みをされていると感じますので、A評価で良いと思います。

会 長 同意いたします。それでは協議会は「ボランティアとの協働事業の実施」についてはA評価、他2項目については自己評価と同じくA評価でよろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

事務局 それでは、「⑤安心・安全な読書ができる環境を整備するとともに、図書館利用が困難な市民へのサービス拡充を図り、誰にでもやさしい図書館をめざします。」の4項目につきましてご説明いたします。

<事務局より説明>

会 長 令和7年1月から図書館利用登録のオンライン申請サービスが開始されましたが、申込受付状況はいかがですか。

事務局 令和6年度末までで64件の申込みがあり、うち18件はすでに利用者登録のある方からの申込みでしたので、更新時期をお伝えするのみの対応をいたしました。今年度については、5月から運用を変更し利用者更新の手続きも可能となり、ほとんどの手続きがオンラインで申請可能となりました。4月から8月時点で51件の申込みをいただいております。そのうち9件が更新手続きでの利用でした。今後もPRに努め利用促進を図っていききたいと考えております。

委 員 「図書館への来館が困難な市民へのサービス充実」として、現在予約した資料のキャンセルは確保状態になると電話でしか手続きができませんが、オンラインでの取消しが可能にならないでしょうか。

事務局 資料がご用意できたもののキャンセルについては、現状電話のみで受け付けております。今後システムの運用上で可能になれば望ましいと考えております。

会 長 他にご意見はありませんか。それでは協議会の評価ですが、自己評価と同じく全てA評価として良いでしょうか。

委 員 異議なし。

会 長 以上で評価を終了いたします。それでは次の議題である、図書館利用者アンケート集計

結果報告について事務局より報告をお願いいたします。

<事務局より報告>

委 員 利用者からのリクエストは本の選定の際に考慮されているのでしょうか。

事務局 資料のリクエストは日々頂いており、選書基準に基づき司書が選定して購入をしております。

委 員 スクリレで配信したこともあり、さまざまな人から意見が集まったと思いますので、これらを今後どのように活用していくかが重要だと思います。

会 長 ありがとうございました。それでは令和7年度第1回池田市図書館協議会を終了いたします。